



何事もよろこびず、また憂いじよ。

功德黑暗つれて歩けば。

雜談集 無住

「何があつても

喜び過ぎたり悲しみ過ぎたりしてはいけません。

なぜならば功德天と黑暗天は

いつも連れ立つて歩いているのだから。」

功德天は福の神の事、黑暗天は貧乏神の事。

禍福はあざなえる縄の如し、人生いい事もあれば悪い事もあります…。

何事かにあたるとき大切なのは、自然な態度、動じない心。「不動の心」があれば、楽な生き方が出来るのです。

喜びも悲しみも、あの世までは持つて行かれませんから…。

浄土の祭り

萬徳院釈迦寺
住職 竹田 明秀



今日はお祭り、小さい子供たちが提灯を片手に高いお山を登つて行きます。

みんな笑顔で楽しそう。その提灯には、大好きなお父さんお母さんの顔が浮かんでいます。でも、ひとり、子供たちの列には入れず泣いている子供がいます。提灯の火が点かず、みんなと一緒に遊べないと泣いています。なぜその子だけ、提灯に火が点かないのでしょうか。

親から子、そして孫へと伝えるべき大切な言葉があります。それは、仏教の伝承とは違うものかもしく遊んでいます。しかし、現世で子供を亡くした母親がいつまで泣いていると、その涙が口ウソなくなるというのです。子供を亡くしたことは大変に悲しいことです。いつも泣いてばかりでは、かえって亡くなつた子供が悲しみます。だから、悲しう気持ちは解るけれど、いま泣いてばかり

りあらず、子供のためにもしつかりと生きていかなければいけません。

そう言って、今から約七十年前、小学生だった長男を亡くし、死をも考え悲しんでいた祖母を近所の方が励ましたそうです。

その祖母も先日、九十八年の生涯を閉じました。祖母の希望もあり、私が葬儀の導師を勤めさせていただきました。

ここは浄土、仏様の世界です。幼くして亡くなつた子供たちが楽しく遊んでいます。しかし、現世化人類学の研究対象になつていて高いところから飛び「バンジー・ジャンプ」も、もとは成人になるための儀式でした。同様にお葬式も人生上の大事な通過儀礼に含まれます。それを行うことで、その方の人生が完結、完成し、それと同時に、次の世界すなわち仏さまのみもとで御先祖さまの仲間になります。そこで先祖様の意思を汲み、次代へと伝えていくためにも、私たち今は今をしっかりと生きています。お寺では、戒名や法名をさづけますが、それは次なる世界における命名にあたります。赤ちゃんが生まれたとき親が命名するように、僧侶が仏

お葬式の意味を知る

合掌

私たちの生涯は、儀式や行事の積み重ねだといえます。思い返してみてください。誕生日、入学式、卒業式、成人式、入社式、結婚式など…。これらは「通過儀礼」とよばれ、この行事に参加するにより、自他と共に人格の成長が認められるのです。これらの通過儀礼は世界各国に必ずあり、文化人類学の研究対象になつていて高いところから飛び「バンジー・ジャンプ」も、もとは成人になるための儀式でした。同様にお葬式も人生上の大事な通過儀礼に含まれます。それを行うことで、その方の人生が完結、完成し、それと同時に、次の世界すなわち仏さまのみもとで御先祖さまの仲間になります。そこで先祖様の意思を汲み、次代へと伝えていくためにも、私たち今は今をしっかりと生きています。お寺では、戒名や法名をさづけますが、それは次なる世界における命名にあたります。赤ちゃんが生まれたとき親が命名するように、僧侶が仏

いるのです。また、湯灌を施し白衣に着替えるのは、悩みや苦しみなど現世での心身の垢を落とします。そして、読経供養を受けて、仏さまのご加護を被り、悩みや苦しみのない安らかな浄土へとおもむいて行くのです。「この儀式は、故人さまが自分からは参加できません。亡くなつてしまったら終わりなのではなく、その方の人格は残り、また成長、修行していくのです。それが一周忌や三回忌などの御法事なのです。わかりやすく言えば、御先祖の世界での一年生、三年生です。よほどこの事情がない限り、できるだけ葬儀や法事は怠らないでいただきたいものです。故人さまは、御縁のある皆さん、後押しで順調に成長し、修行が進んでいく



萬徳院釈迦寺(小室)並びに稻毛別院

盂蘭盆会大施餓鬼法要のこ案内



今年も、八月十六日に施餓鬼供養の淨行を厳修致します。

船橋市小室町に加え、近く落慶法要を迎えます稻毛別院においても厳修する事と成りました。

謹んで御報告申し上げますとどもに、これまで遠く御足労を頂いた千葉市近郊の皆様の稻毛別院への御参拝を心よりお待ち申し上げております。

夕刻十九時よりは、送り火法要を例年に習い修行し、盛夏の終わりと致します。(稻毛別院では送り火法要は行いません。)

小室では従来の如く、午前九時の開白より七座の修行を予定しております。

一座目には恒例の「百味献供作法」を御参拝の方々にも御修行頂き、法味に浴して頂きたいと存じます。

満座の方々と共に、ほとけさまに心を込めて御供え頂く御修行は、尊い慈悲行の実践に他なりません。

一日～四日まで仏教伝道協会主催による実践布教研究会が催されました。この研修に様々な宗派の寺より六十九名の僧侶が集まりました。薬師寺は前管長高田好胤師のもと、戦後の荒廃した寺を建て直すべく、百万巻の写経を推進した寺であり、今では七百四十万巻の写経が全国より送られています。今回は薬師寺長老の安田暎胤師を始め、現管主の山田法胤師、執事

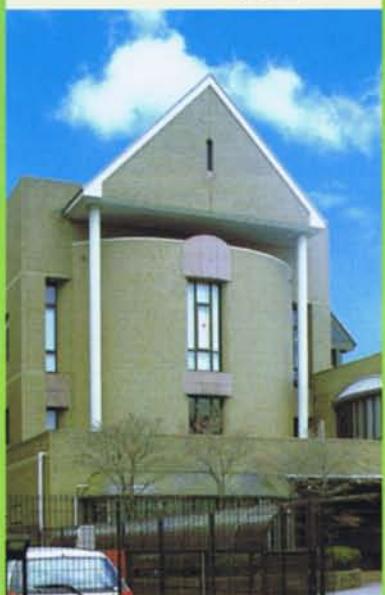
研修記



朝五時の梵鐘の音とともに薬師如来様の御前で勤行が始まります。これは今年、遷都十三百年を迎えた奈良西の京薬師寺。六月一日～四日まで仏教伝道協会主催による実践布教研究会が催されました。この研修に様々な宗派の寺より六十九名の僧侶が集まりました。薬師寺は前管長高田好胤師のもと、戦後の荒廃した寺を建て直すべく、百万巻の写経を推進した寺であり、今では七百四十万巻の写経が全国より送られています。今回は薬師寺長老の安田暎胤師を始め、現管主の山田法胤師、執事

長の村上太胤師、東大寺長老・文学博士の森本公誠師、唐招提寺執事長の西山明彦師等、普段、あ目に掛れない程の先生方から有り難い講話を戴きました。また、夜遅くまで良い寺を作る為の話し合いが分科会ことになされ大変勉強をさせていただきました。そして、今回の最大のテーマ「日光・月光菩薩に学ぶ」では月光菩薩のように、仏様の慈悲の光を反射して、皆様に照らしていける様な僧侶になりました。誓いをさせいただきました。

合掌



萬徳院釈迦寺 稻毛別院

**TEL043-441-5000
FAX043-441-5086**

〒263-0031

千葉市稻毛区稻毛東

4-12-2

読者の広場

Q & A

それが知りたい

仏事の色々

◎仏事その三

お墓参りは大切な勤めです

お盆、お彼岸を迎えるにあたつて、お墓の掃除をお願いします。墓前にて、まず合掌して、日頃ご淨土よりお守りいただいている先祖さまに感謝の気持ちを申し上げましよう。最初に、墓石周りの雑草を抜きましょう。一つひとつ心の悩みが消えていきます。その後、墓石の掃除。束子で磨くお方もいますが、私などは擦ったタオルで拭き清めます。浄水を手向けた後、お花、お線香をお供えて、お経をお唱えします。お経の代わりに、家族親族の近況報告などを聞いていただきても良いです。

※耳寄りの情報をひとこと。近年、お墓の状況に変化が見られます。釈迦寺の納骨堂は家族に限ることなく、親戚・縁者の方であれば、姓が違っていても、一緒に納骨していただけます。

お知らせ

平成二十三年版釈迦寺特製カレンダーを無料
プレゼント致します。

お申し込みを開始しますので、ご希望の方は
同封の申し込み用紙にご記入の上、8月31日必
着でお申し込み下さい。

ひとりごと

◎坐禅会 (参加費 無料)
日々の雜踏から離れ
無音の中に安らぎを求める
イスを使った「らくらく坐禅」
もあります。

★イスを使つた「らくらく坐禅」
もあります。

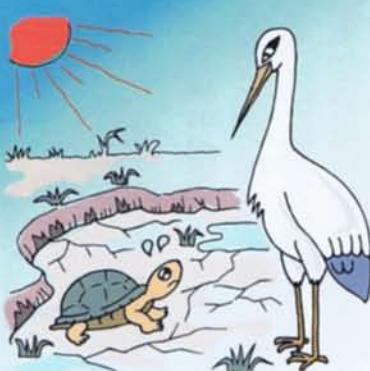
- 7月20日(火)午前8時より
- 8月24日(火)午前8時より
- 9月21日(火)午前8時より

★お気軽にご参加ください。
★写仏のコースもございます。

- 7月20日(火)午前9時より
- 8月24日(火)午前9時より
- 9月21日(火)午前9時より

○写経会 (納経代 お一人様千円)
○仏様の教えを全身でいたたく

亀は、『もう死にそうだ。まだ
かい』と何度も文句を言い続
け最後に『返事ぐらいしろ』
と怒鳴りました、コウノトリ
は頭にきて『この恩知らず』
と答えたと同時に亀は地上に
落として命を落としました…



月例行事のご案内

○月例法要

(1)供養お布施五千円
故人様、(2)先祖様追善の(3)法
要と御導師様の法話がございま
す。

● 7月18日(日)

午後2時より大本堂